

第12回 Pitch to the Minister懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：平成30年12月5日（水）12：00～13：00
- 場所：中央合同庁舎8号館10階 平井国務大臣室
- Pitchテーマ：オンデマンド型小型SAR衛星がもたらす社会・産業の変革
- 招へい者：白坂 成功 ImPACTプログラムマネジャー／
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授
- 出席者：平井国務大臣
河内内閣府次官、幸田内閣府審議官、
高田宇宙開発戦略推進事務局長、住田知的財産戦略推進事務局長、
行松審議官（宇宙）、中川審議官（科技）、
高倉参事官（宇宙）、森参事官（宇宙）、堀内参事官（科技）、三角副CIO、
寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 白坂プログラムマネジャーからの説明

- 夜間や雲があっても観測が可能である合成開口レーダ（SAR）衛星は、これまでになかった（活用できなかった）「時間や天候に左右されない地球規模のデータ」を生み出す。
雨天・強風・夜間でも、緊急対応時に被災地周辺領域を含めた状況を速やかに把握することが必要。
- ImPACTプログラムでは、複数機（コンステレーション）による即時観測及び災害発生時のオンデマンド打上げによる即時観測を組み合わせた利用を目指し、①大幅に小型化・軽量化したSARシステム②人工衛星の高度な自律化機能 の技術開発を実施。
- 高コンパクト収納型アンテナを開発し、高効率のまま大幅に小型・軽量化を実現（分解能1m、質量100kg、サイズ0.7m立方体、コスト5億円以下）。また、人工衛星の「エッジ化」を指向した自律化機能を設計、軌道上実証を実施。
- 成果を事業化すべく、Synspective社を設立。2019年度中に実証1号機を打上げ予定。SARデータを活用することで、課題の解決や新ビジネスの構築を促進し、持続可能な社会の実現を推進する。

3. 主な質疑応答・議論

- 本プログラムは採択時から非常に挑戦的な目標を立てており、さらに、社会の変革スピードに合わせ、目標を変えたり組織を変えたりということを柔軟に行った。国のファンディング

の在り方の試金石になり得る。プロジェクト開始時に設定したターゲットにとらわれず、社会の変革に合わせた実質的な出口をその都度見つけていくことが重要、との意見があった。

○ 衛星の量産化に向けてそれぞれの分野に強みを持った中小企業等を利用していくことも必要ではないか、との意見があった。

○ 「クールジャパン」として、世界的な技術をもつ若いベンチャーを世界に売り出していくことも必要ではないか、との意見があった。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)